

クマが人をおそうわけは？

【1】

——ことしは本当にクマの事故が多い。長野県小谷村では九月二十日、登校途中の中学三年生がクマに重傷を負わされた。

二年前の秋にも全国でクマが大量出沒した。おそわれた人は百十一人で、亡くなった人が長野県と富山県でひとりずつ。ことしはけが人はすでに七十人をこえたし、亡くなった人も北海道でひとり、長野県はふたりと最悪のペースだ。ジャン クマの対策とかあるの？

——もちろん対策も立てた。岩手県が三月にクマ出沒注意報を出し、秋田や長野でも注意報が出された。クマの大切な食料のブナの実が、ことしの秋は不作になると予想されている。だからね。ブナは去年が大豊作だった。大豊作の翌年はかならず凶作になる。各

県の林業試験場は、ブナやクリが豊作かどうか調べている。

ジャン 注意報が出たら、被害をへらせるはずでしょ。

——注意報だけで被害はふせげない。人間が無防備で山や森に入り、クマとはち合わせしたら、クマだっておどろくよ。おどろいて腕をふり回せば、人間はけがをするし、へたをすれば死んでしまう。人間の側の注意がまだ足りないね。

ジャン クマにあつたら死んだふりしてダメなの。

——ダメダメ。一番大事なのは、クマがいそうな場所に近づかないこと。どうしても行くときは大勢で行く、ラジオを鳴らしたり、鈴をふったり、人間がいると知らせれば、ふつうはクマの方からにげていくんだ。ジャン でも最近

近い畑にクマが出てくると聞いたわ。

——それが問題だ。山すそに広がる

里山には、棚田や畑、雑木林がある。でも、農家がへつて林も荒れているから、その林をつたえば、クマは姿をかくしたまま里におりられる。里にはおいしい野菜やリンゴがある。サルやイノシシなどの野生動物が里に出るのも、同じ道からだよ。

ボン クマさんの家は森じゃないの。

——奥山（山の奥深く）に食料がなければ、クマだって里におりてくる。昔は里に近づくと人間に追われたり殺されたりした。でもいまは人間の姿も少ない。クマと人間の住む場所の境界、バリアがくずれてきたんだ。

【2】

▽ことしは2004年秋と同じように、クマに人のおそわれる事件があいついでいる。クマの食料となるブナの実の不作が原因のひとつ。

▽農家がへり、山と里の間に広がる里山（棚田や畑、雑木林など）が荒れたことも原因に。クマが身をかくしたまま、里におりやすくなっている。

▽果物や生ごみをかたづける、果樹園などを電気さくでかこむ、雑木林の手入れをするなどの対策が必要。クマの事故をなくすことが、クマや森、ゆたかな自然を守ることにつながる。

【3】

クマや動物たちを山にもどす方法はないのかな。

——最近、つかまえたクマに唐辛子スプレーをかけたたり犬をけしかけたりして、人間のこわさをたっぷり教えてから山奥に放す「学習放獣」が行われている。

里にクマを引きよせないためには、くずリンゴの捨て場や生ごみ、カキのとりわすれをなくし、大事な果樹園や田畑は電気さくでかこむなど、対策をがっちりやること。雑木林の下草をかり、やぶをなくせば、かくれるところがなくてクマは近づけないんだ。

ジャン でも、えさがないクマはどうなるの。殺されるの。——ジャンはやさしいね。クマはえさをさがして、遠くまで森づたいに移動する。里におりて生ごみやトウモロコシなどの味をおぼえてし

まったクマは、最後には射殺される。人間に近づいて危険だからさ。ことしも、長野県だけで二百三十二頭、北海道のヒグマと本州のツキノワグマが計千六百頭以上、殺されている。

——そんなに。

——つい二、三十年前まで「クマは全部殺してしまえ」という人もいた。でも、クマがいるのはすばらしいことなんだ。

ボン なぜ？

——クマがすんでいる山や森にはきれいな水が流れ、サルやシカ、昆虫などたくさん動物と植物もある。英語で「ベア・アンブレラ」といって、クマ（ベア）は豊かな自然を守るかさ（アンブレラ）の役割、守り神なんだ。